

# 「リンゴ福島8号」は高温時も着色良好で葉摘みを省略できる

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

## 1 部門名

果樹－リンゴ－育種・選抜

## 2 担当者名

安達義輝、岡田初彦、高橋堯之、芝祥太郎

## 3 要旨

福島県はリンゴ産地としては温暖で、盛夏期の赤色の果皮着色が進みにくい。そこで、温暖化に適応可能な新品種育成を目指し、着色に優れる「リンゴ福島8号」を育成した。本系統は、同時期の着色系「つがる」に比べ高温時も果皮着色が濃く、葉摘みしなくても着色が良い。

- (1) 高温条件下（平均気温 27℃）において、「リンゴ福島8号」は収穫1か月前には果皮の着色が始まり、収穫までの果皮アントシアン含有量は優良着色系の「芳明つがる」に比べて3～5倍とかなり多い（図1）。
- (2) 晴天時の日中における果皮表面温度は 50℃近くになるが、日焼けの発生は少ない（図2）。
- (3) 着色の均一化を狙った葉摘みは有効だが、実施しなくても充分な外観が得られる（表1）。

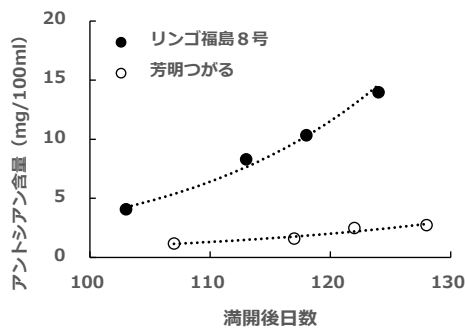


図1 「リンゴ福島8号」の果皮中アントシアン含量の推移

果皮表面写真は、左から8/13、23、28、9/3  
調査期間の平均気温は、22.9–27.4–33.5℃（最低-平均-最高）

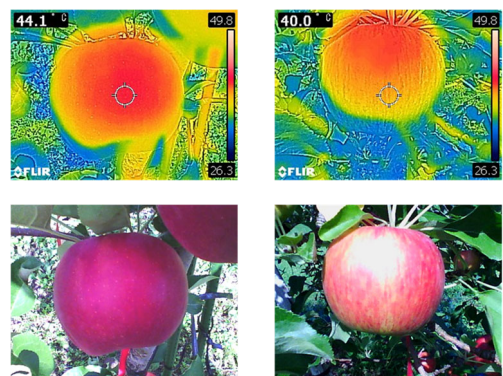


図2 「リンゴ福島8号」の着色期における日中の果面温度（2020年9月3日 午前9:00撮影）

上図：サーモグラフィ（赤：高温～青：低温）  
左上の数値は、中央丸囲み部の表面温度  
下図：カラー写真、芳明つがるの果面に日焼け

表1 「リンゴ福島8号」の着色管理の有無と着色程度

系統・品種	着色管理	収穫前日数		着色度 <sup>2</sup>	色均一性 <sup>2</sup>
		葉摘み	玉回し		
リンゴ福島8号	葉摘み・玉回し	11	7	219 ab	866 a
	玉回し	–	11	225 a	831 a
	無処理	–	–	215 b	770 b
芳明つがる	葉摘み・玉回し	13	7	176 c	828 ab

<sup>2</sup>：着色値、色均一性は光センサーMIQ2200W（シブヤ精機(株)製）による推定値。

Tukey-Kramer法により、異符号間に有意差あり（p<0.01）。

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27～令和2年度
- (2) 研究課題名 県オリジナル果樹品種の育成

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 岡田ら，温暖化に打ち勝つ高着色性早生系統「リンゴ福島8号」の育成，令和元年度参考となる成果